

流通とSC・私の視点

2012年5月10日

視点(1581)

I Saw All China (その19) !!

(百貨店・GMS編)

— 中国における日本企業の業態のポジショニング —

私は、2012年4月に「上海市」「蘇州市」、5月に「長沙市」「重慶市」「成都市」を視察しました。その中で、伊藤洋華堂、平和堂、イオンモール、泉屋百貨、伊勢丹の日系企業の位置づけは次の通りです。上記の都市の中の総合業態をマトリックス化（グレード&バリエーション）すると次の通りです。

		バリエーション（商品の選択肢）									
		上	中上	中中	中下	下					
グレード	上		王府井百貨	伊勢丹 (成都市 上海市)							
	中上	重慶市の中心街 永輝超市	伊藤洋華堂 (成都市)	イオンモール (北京市・天津市)	長沙市・株洲市 平和堂	蘇州市 泉屋百貨					
	中中	ハイパーマーケット（スーパーセンター）									
	中下						蘇州市 オーシャン				
	下										
		カルフル、ウォルマート、オーシャン、 Eマート、大潤発、テスコ、ロータス			ウオルト Eマート フルマート フル						

また、流通の業態をマトリックス化すると次の通りです。

第1グレード	高級百貨店	高級スペシャリティセンター
第2グレード	スタンダード百貨店 (伊勢丹)	スタンダード・スペシャリティセンター (パルコ・オーパ)
第3グレード	館型SC (伊藤洋華堂・平和堂・泉屋百貨)	モール型SC (イオンモール・平和堂(株洲市))
第4グレード	ハイパーマーケット (ハイパーマーケットを核店とするCSC)	〔カルフル、ウォルマート、オーシャン、 Eマート、大潤発、テスコ、ロータス〕

日本の「伊藤洋華堂」や「平和堂」や「イオンモール（永旺）」や「泉屋百貨」は、ハイパーマーケット（ハイパーマーケットを核店とするCSC）のワンランク上、伊勢丹や新光百貨店や王府井百貨等のスタンダード百貨店のワンランク下の、まさに日本のSCのモール専門店を「館」や「モール」で展開するSCです。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六 軍 秀 之